

平成 21 年度 崇城大学推薦入学試験問題 (専門高校)
数学 I (1 日目 : 平成 20 年 11 月 7 日) 60 分

1 次の各問に答えよ。

(1) 2 次関数 $y = \frac{1}{4}x^2 - x + 1$ ($1 \leq x \leq 4$) の最大値と最小値を求めよ。

(2) 連立不等式 $\begin{cases} x^2 + 2x - 2 \leq 0 \\ 2x^2 + x - 1 > 0 \end{cases}$ を解け。

(3) $\triangle ABC$ において, $AB = 2$, $BC = 3\sqrt{2} - \sqrt{6}$, $CA = 2\sqrt{3} - 2$ であるとき, $\angle A$ の大きさを求めよ。

2 x についての 2 次方程式 $2x^2 + 2(m+1)x + m + \frac{1}{2} = 0$ について, 次の各問に答えよ。

(1) この方程式を解け。

(2) 2 つの解の間に整数がちょうど 3 つあるような整数 m を求めよ。

3 $\triangle ABC$ において, $\angle A = 45^\circ$, $\angle B = 60^\circ$, $BC = a$ である。次の各問に答えよ。

(1) $\triangle ABC$ の外接円の半径を a で表せ。

(2) CA , AB の長さを a で表せ。

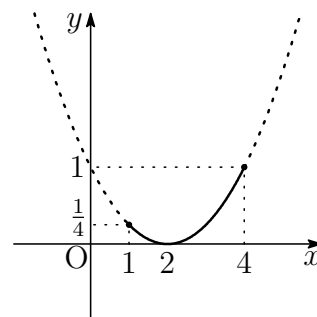
解答例

□ 1 (1) $y = \frac{1}{4}x^2 - x + 1$ を変形すると

$$y = \frac{1}{4}(x - 2)^2$$

$1 \leq x \leq 4$ でのグラフは、右の図の実線部分である。よって、 y は

$x = 4$ で最大値 1 をとり、
 $x = 2$ で最小値 0 をとる。

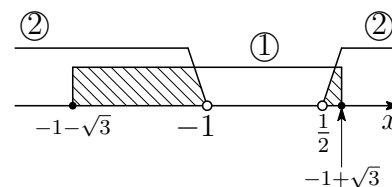


(2) 第 1 式から $(x + 1)^2 - 3 \leq 0$
 $(x + 1 + \sqrt{3})(x + 1 - \sqrt{3}) \leq 0$
 よって $-1 - \sqrt{3} \leq x \leq -1 + \sqrt{3}$ … ①

第 2 式から $(x + 1)(2x - 1) > 0$
 よって $x < -1, \frac{1}{2} < x$ … ②

①, ② の共通範囲を求めて

$$-1 - \sqrt{3} \leq x < -1, \frac{1}{2} < x \leq -1 + \sqrt{3}$$



(3) 余弦定理により

$$\begin{aligned} \cos A &= \frac{CA^2 + AB^2 - BC^2}{2CA \cdot AB} \\ &= \frac{(2\sqrt{3} - 2)^2 + 2^2 - (3\sqrt{2} - \sqrt{6})^2}{2(2\sqrt{3} - 2) \cdot 2} \\ &= \frac{4(\sqrt{3} - 1)}{8(\sqrt{3} - 1)} = \frac{1}{2} \end{aligned}$$

よって $\angle A = 60^\circ$

2 (1) 与えられた方程式から $x^2 + (m+1)x + \frac{1}{2}\left(m + \frac{1}{2}\right) = 0$

左辺を因数分解すると $\left(x + \frac{1}{2}\right)\left(x + m + \frac{1}{2}\right) = 0$

これを解いて $x = -\frac{1}{2}, -m - \frac{1}{2}$

(2) 2つの解の間に整数がちょうど3つあるのは, m が整数であるから

3つの整数が $-3, -2, -1$ のとき $-m - \frac{1}{2} = -3 - \frac{1}{2}$

3つの整数が $0, 1, 2$ のとき $-m - \frac{1}{2} = 3 - \frac{1}{2}$

よって $m = \pm 3$

3 (1) 正弦定理により $2R = \frac{BC}{\sin A}$

よって $R = \frac{a}{2 \sin 45^\circ} = \frac{a}{\sqrt{2}}$

(2) 正弦定理により $\frac{BC}{\sin A} = \frac{CA}{\sin B}$

ゆえに $\frac{a}{\sin 45^\circ} = \frac{CA}{\sin 60^\circ}$ よって $CA = \frac{a \sin 60^\circ}{\sin 45^\circ} = \frac{\sqrt{6}}{2}a$

第1余弦定理により $AB = CA \cos A + BC \cos B$

よって $AB = \frac{\sqrt{6}}{2}a \cos 45^\circ + a \cos 60^\circ = \frac{\sqrt{3}}{2}a + \frac{1}{2}a = \frac{\sqrt{3} + 1}{2}a$